



勝田小学校

○学校評議員会の協議内容

【勝田中学校区共通 学校教育目標】 目指す児童像：～かかんがえる子 つよい子 たすけあう子～
夢を拓き、確かな学びと豊かな心、たくましく生き抜く力を育む

【令和5年度勝田小学校PTAスローガン】

安心と希望の水やりで子どもたちの満開の笑顔の花をさかせよう



勝田小HP
学校長作成

学校評議員会（令和5年度まとめ）を開催しました。

2月14日（水）学校評議員会を開催し、今年度の教育活動等の状況について校長から説明を行い、授業参観を通して子ども達の状況を委員の皆様にご覧いただきました。学校評議員制度は平成12年に「地域に開かれた学校づくり」を推進するために、学校教育法施行規則の施行を受けたものです。美作市でも平成17年に規則が定められ、運用されています。勝田地域各エリアから選出の全委員6名の参加をいただきました。

そして、美作市では、令和7年度当初には、全小中学校に学校運営協議会を設置し、「地域とともにある学校づくり」を推進します。本校でも、新年度以降、地域や保護者、関係機関の代表者から構成される委員の方々との協議を行いつつ、今まで以上に、勝田小学校の目指す児童像について、より共有していただきながら教育活動を推進する所存です。現在、委員については、委嘱に向け調整中です。

校長からの学校経営・学校運営状況等総括（○成果 ▲課題 □次年度以降）

- 新型コロナウイルス感染症第5類移行後の行事等は内容・実施意図をより精査した結果、保護者や地域の方々に子どもの成長や努力の跡がよく伝わる行事となった。また、2大行事（運動会・スマイル発表会）が学校の状況を反映する場であることを再認識した。
- 教職員は、それぞれの立場で誠実に職務に取り組んでいる。『学校は楽しい』と9割以上の児童が回答したり、『安心して相談できる先生がいる』とアンケート回答のほぼ全ての保護者が感じていることが分かり、職員の教育活動推進の自信になっている。など

- ▲学力テスト等への対応力（求められている学力 回答するテクニック等の不足）
- ▲家庭学習に係る意欲・取組の様子の低調さ ▲残暑による運動会実施時期決定の困難さ
- ▲学校施設の老朽化（タイル落下 剥がれ 水漏れ等） ▲児童数減少

- 学校評議員会を母体に令和6年度から勝田小学校学校運営協議会に移行する。丁寧に進めていきたい。
- 【保育園・幼稚園・こども園】と【小学校】の接続を非常に重視しており、子どもの入学前の経験を大切に、小学校のスタートカリキュラムとして取り入れ、小学校入学時の段差を緩やかになるようにと配慮している。 など

委員からの意見

※分かりやすい授業・楽しい授業であることは大切だ。子どもが「分かった」・「できた」と判断する基準、さらには、目指す児童像にもある「考えることができた」と判断するためには、観察や捉え方が難しいだろう。

※「考える」ことができるとは、「どこがちがうのか」をはっきり分かることだと思う。一問一答のような形式ではなく、考えさせる段階を念頭に置くことが大切ではないか。

※「個性」伸長は大切だと思う一方で、入学前からの集団としての落ち着きや規律も大切だと感じている。指導者がはき違えないことが大切ではないだろうか。

※学校運営協議会導入の際には、委員の世代交代や、多様な意見が出されるよう人選に配慮する必要があるだろう。 など